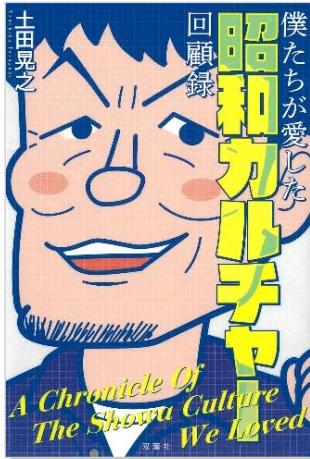


TRY READING THIS BOOK

今月のおすすめ



僕たちが愛した昭和カルチャー 回顧録

土田 晃之 著
双葉社

ファミコン、キン消し、ウォークマン、おニャン子クラブ……、みなさん知っている物はありますか？「懐かし～」と声をあげていらっしゃる方もいることでしょう！

昭和の時代を知っている方も知らない方も楽しめるこの本、お笑い芸人つっちーこと土田晃之氏が、面白かった昭和時代を案内してくれています。

今では信じられないことが当たり前だった昭和時代について、ここでクイズ！

携帯電話のない時代に、駅で人と待ち合わせた時刻に相手が現れなかったときの連絡手段とは何？（答えはこの本の中に！？）

TRY READING THIS BOOK

今月のおすすめ



僕たちが愛した昭和カルチャー 回顧録

土田 晃之 著
双葉社

ファミコン、キン消し、ウォークマン、おニャン子クラブ……、みなさん知っている物はありますか？「懐かし～」と声をあげていらっしゃる方もいることでしょう！

昭和の時代を知っている方も知らない方も楽しめるこの本、お笑い芸人つっちーこと土田晃之氏が、面白かった昭和時代を案内してくれています。

今では信じられないことが当たり前だった昭和時代について、ここでクイズ！

携帯電話のない時代に、駅で人と待ち合わせた時刻に相手が現れなかったときの連絡手段とは何？（答えはこの本の中に！？）

図書館の資料は「みんなのもの」です



汚れ・破れ・水濡れに注意



返却期限を守りましょう

【休館】12/22-25 市内すべての図書施設
図書館システムメンテナンスのため。WebOPACも使えません

湯沢図書館

〒012-0842 湯沢市字内館町 27
電話 0183-73-3040
開館時間 月～金／9:30～18:30
土・日／9:00～17:00
休館日 図書整理日（毎月初めの平日）
第3日曜日
祝日・年末年始 12/28-1/5 特別図書整理期間

雄勝図書館

〒019-0204 湯沢市横堀字白銀町 49-1 雄勝文化会館 4F
電話 0183-52-5387
開館時間 9:30～17:30
休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始 12/28-1/5
特別図書整理期間 12/2-5

稻川カルチャーセンター

〒012-0105 湯沢市川連町字大関下 6
電話 0183-78-5557
開館時間 月～金／10:00～19:00
土・日・祝／9:00～19:00
休館日 年末年始 12/29-1/3 特別図書整理期間

皆瀬生涯学習センター

〒012-0183 湯沢市皆瀬字沢梨台 66-1
電話 0183-46-2033
開館時間 月・水・金／8:30～21:30
火・木・土・日・祝／8:30～17:00
休館日 年末年始 12/29-1/3 特別図書整理期間

湯沢市立図書館だより

YUZAWA CITY LIBRARY
INFORMATION

2025
11

No.20

NEWS



湯沢市在住の児童文学作家 烏美山貴子さんが湯沢図書館にご来館されました。いただいたサインは館内に飾っています。もちろん著書も所蔵していますので、大人のかたもどうぞご利用ください。広報ゆざわ10月号では、鳥美山さんの推し本や読書の魅力をお聞きしています。こちらもぜひご覧ください！

YUZAWA CITY WEBSITE

図書館だより

新着図書案内



湯沢図書館



秋田学入門 続々

あんばい こう 著
無明舎出版

湯沢市生まれの著者がまとめた、知っているようで知らなかった秋田のあれこれ。
「『んだんだ』という言葉が好き」とか、「山や地名に残るアイヌ言葉は...」「加藤富夫という作家を知っていますか?」など、気になるタイトルが目白押し!
書名に「続々」とあるとおり、2018年、2021年に続く、「秋田学入門」の第3弾です。本の帯には「完結編!」とありますが、ここはネタの宝庫、秋田です!さらなる続編を熱望しております。

雄勝図書館

メルカリガイドブック
売り買いをもっと楽しむ!

桑名 由美 著
技術評論社

「メルカリ」とは、オンライン型のフリーマーケットのことです。この本は、メルカリアプリのインストールから設定、出品の仕方、購入の仕方まで網羅しています。出品するなら押さえておきたい、購入率をアップさせる“少しの工夫”についても紹介。商品写真の撮り方や、説明文の書き方のアドバイスもありますよ。売り買いだけでなく、他にもおトクに楽しめるコンテンツが掲載されている、メルカリのバイブルの一冊です!

皆瀬生涯学習センター



書店怪談

岡崎 隼人 著
講談社

書店を舞台にした不気味な怪談集です。日常的な空間で起こる異常事態にぐいぐいと引き込まれるストーリー。登場人物の過去や内面が怪異と絡んで、深みを増しています。また、ホラーとサスペンスがバランスよく絡み、独特な雰囲気が物語に緊張感を持たせています。現実と幻想が交錯する、どこかノスタルジックで、薄気味悪い怖さを味わえる一冊です。